

令和 8 (2026) 年度 第 1 回 飯山市地域公共交通会議 次第

令和 8 (2026) 年 4 月 30 日 (木) 10 時 00 分
飯山市役所 4 階 全員協議会室

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 令和 7 (2025) 年度事業報告及び決算について

(2) 第 2 次飯山市地域公共交通計画（仮称）の策定について

(3) 飯山市公共交通の今後の方向性について

(4) 令和 8 (2026) 年度事業計画及び予算（案）について

4 その他

中野木島野沢線と野沢線の統合について

5 閉会

令和8(2026)年度 第1回 飯山市地域公共交通会議 出席者名簿

令和8(2026)年4月30日

No.	所 属	職	氏 名	出欠	代理出席・随行者	役職
1	飯山市	飯山市長	江沢 岸生	出		会長
2	長電バス株式会社	乗合・乗用部長	大石 真一	出		
3	長野交通株式会社	代表取締役	高橋 眞紀子	出	代理：永峯新一、岩瀬正敏	
4	戸狩ハイヤー有限公司	代表取締役	沼田 喜一	欠		
5	株式会社妙高ハブネット長野飯山営業所	常務	杉木 龍典	出	代理：課長 本山宏司	
6	公益社団法人長野県バス協会	専務理事	吉澤 實敏	出		
7	長野県タクシー協会	副会長	駒津 健一	出		
8	東日本旅客鉄道株式会社長野支社	飯山駅長	堀 甲介	出		
9	長野電鉄労働組合	副執行委員長	清滝 淳也	出		
10	飯山市区長会協議会	協議会長	荻原 賢二	出		
11	飯山市区長会協議会	富倉地区区長会長	阿部 博文	出		
12	飯山市区長会協議会	岡山地区区長会長	松村 英一	出		
13	飯山市地域公共交通会議委員		小泉 映磨	出		
14	飯山市地域公共交通会議委員		井出 睦美	出		
15	飯山市地域公共交通会議委員		佐川 芳江	欠		
16	飯山市インバウンド推進専門委員会		ビュキャナン リアン パトリシア	出		
17	飯山市民生児童委員協議会	会長	齋藤 誠	欠		
18	飯山市社会福祉協議会	課長補佐兼生活困窮者自立支援係長	佐藤 優季子	出		
19	飯山商工会議所	事務局長兼専務理事職務代理	南澤 忠	出		監事
20	一般社団法人信州いいやま観光局	理事長	伊東 ゆかり	出	代理：事務局長 大西宏志	
21	長野工業高等専門学校	准教授	轟 直希	出		副会長・幹事長
22	飯山高等学校	学校長	金井 繁昭	出		
23	下高井農林高等学校	学校長	早川 清志	欠		
24	飯山市校長会	会長(城北小学校校長)	日台 邦治	欠		
25	飯山市教育委員会	教育長職務代理者	平野 弘蔵	出		
26	城北小学校PTA	会長	渡邊 美千代	欠		
27	飯山警察署	署長	山崎 智弘	出	代理：地域交通課長 元木則人	
28	長野県	交通政策課長	酒井 裕司	出	代理：交通政策課 飯田紗生	
29	長野県北信地域振興局	企画振興課長	田中 義人	出		監事
30	長野県北信建設事務所	維持管理課長	鈴木 善明	出		
31	北陸信越運輸局長長野運輸支局	首席運輸企画専門官	渡邊 徳之	出		アドバイザー
32	木島平村役場	建設課	岡田 孝夫	出		オブザーバー
33	野沢温泉村役場	総務課	天谷 友洋	出	随行者：総務課 高山雅玖	オブザーバー
	事務局	総務部長	鈴木 靖史	出		
		子ども育成課長	丸山 真央	出		
		保健福祉課長	山崎 文英	出		
		まちづくり課長	浦野 昭彦	出		
		商工観光課長	宮本 秀一	出		
		道路河川課長	奥原 司	出		
		企画財政課長	高橋 昇一	出		
		公共交通係長	小嶋 由香	出		
		主任	原 大貴	出		

任期 令和7年5月26日～令和9年5月25日

協議事項（１）令和 7 (2025)年度事業報告及び収支報告について

1 事業報告

令和 7(2025)年

- ・ 4 月 22 日(火) 第 1 回飯山市地域公共交通会議 幹事会

協議事項 乗り合いタクシーの新たな移送方法の内容について

- ・ 5 月 23 日(金) 第 2 回飯山市地域公共交通会議 幹事会

協議事項 乗り合いタクシーの新たな移送方法の実証運行について

- ・ 6 月 5 日(木) 第 1 回飯山市地域公共交通会議

協議事項 (1) 令和 6 年度（2024 年度）事業報告について

(2) 幹事会の設置について

(3) 地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）
に係る計画の承認について

(4) 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統補助）
に係る計画の承認について

(5) 乗り合いタクシーの新たな移送方法の実証運行について

(6) 令和 7 年度（2025 年度）事業計画及び予算（案）について

- ・ 7 月 23 日(水) 第 3 回飯山市地域公共交通会議 幹事会

協議事項 いいやま相乗りタクシー実証実験の内容検討

- ・ 10 月 15 日(水) いいやま相乗りタクシー実証実験（10/15～1/31）

※資料編 p.3 参照

- ・ 12 月 12 日(土) いいやまライドシェア実証実験（12/12～3/31）

※資料編 p.21 参照

令和 8(2026)年

- ・ 2 月 18 日（水）第 4 回飯山市地域公共交通会議 幹事会

協議事項 いいやま相乗りタクシー実証実験の利用実績報告及び意見交換

- ・ 3 月 16 日（月）第 5 回飯山市地域公共交通会議 幹事会

協議事項 飯山市の公共交通の今後の方向性について

2 令和 7(2025) 年度のコミュニティバス・乗り合いタクシーの利用者数

※資料編 p.31 参照

3 決算報告

令和7(2025)年度 飯山市地域公共交通会議 決算書

歳入総額	87,822,658	円
歳出総額	87,822,658	円
差額	0	円

【歳入】

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差額	備 考
負担金	50,000,000	50,000,000	0	いいやま相乗りタクシー実証実験に係る飯山市からの負担金
補助金	37,860,000	37,786,534	△ 73,466	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 ・「交通空白」解消等リ・デザインプロジェクト （日本版MaaS推進・支援事業） 34,685,534円 ・地域内フィーダー系統補助（乗り合いタクシー 小境線・温井線） 3,101,000円
雑入	0	36,124	36,124	新規口座開設費、貯金利息
合 計	87,860,000	87,822,658	△ 37,342	

【歳出】

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差額	備 考
事業費	50,000,000	49,625,386	△ 374,614	いいやま相乗りタクシー実証実験に係る業務 （日本版MaaS推進・支援事業）
償還金	37,860,000	38,188,142	328,142	飯山市への償還金 ・「交通空白」解消等リ・デザインプロジェクト （日本版MaaS推進・支援事業） 34,685,534円 ・地域内フィーダー系統補助（乗り合いタクシー 小境線・温井線） 3,101,000円 ・負担金不用額の戻入 365,484円 ・新規口座開設費、貯金利息
事務費	0	9,130	9,130	振込手数料
合 計	87,860,000	87,822,658	△ 37,342	

監 査 報 告 書

令和7年度飯山市地域公共交通会議の決算及び事務処理内容について、
令和8年4月21日規約第5条第7項に基づき監査をした結果、
帳簿等に誤りがなく、適正に処理されていたことを認めます。

令和8年4月21日

監 事

田中 義人 印

監 査 報 告 書

令和 7 年度飯山市地域公共交通会議の決算及び事務処理内容について、
令和 8 年 4 月 22 日 規約第 5 条第 7 項に基づき監査をした結果、
帳簿等に誤りがなく、適正に処理されていたことを認めます。

令和 8 年 4 月 22 日

監 事

南 澤 忠



協議事項（２）第２次飯山市地域公共交通計画（仮称）の策定について

1 策定の趣旨

「飯山市地域公共交通計画」は国土交通省の定める「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、令和４（２０２２）年７月に策定した。本計画は、市民にとって利便性が高く、将来にわたり持続可能な公共交通の構築を目的としている。

現行計画の期間は、令和４（２０２２）年度から令和８（２０２６）年度までの５年間であり、今年度をもって最終年度を迎えることから、これまでの達成状況について評価・検証を行い、次期「第２次飯山市地域公共交通計画（仮称）」を策定するもの。

2 策定の進め方

計画の策定にあたっては、住民等の意見を反映するため、飯山市地域公共交通会議規約第３条第３号に基づき、本会議にて協議を行う。なお、策定に向けた調査・研究等については、規約第１０条に基づき、幹事会を中心に進めることとする。

3 今年度の主な協議事項

- 1 利用実態調査結果に基づく公共交通の課題整理
- 2 現行計画の達成状況に関する評価・検証
- 3 第２次飯山市地域公共交通計画（案）の検討
- 4 パブリックコメントの結果報告及び計画書の承認

4 策定スケジュール（案）

令和８（２０２６）年

- | | |
|-----------|----------------------|
| ・ ６月～８月 | 利用実態調査（アンケート等）の実施 |
| ・ ９月 | 計画の達成状況の評価・検証（幹事会） |
| ・ １０月上旬 | 計画の達成状況の評価・検証（本会議） |
| ・ １０月～１２月 | 第２次飯山市地域公共交通計画（案）の策定 |

令和９（２０２７）年

- | | |
|---------|---------------------------|
| ・ １月～２月 | パブリックコメントの実施 |
| ・ ３月 | パブリックコメントの結果報告、計画書承認（本会議） |

協議事項（3）飯山市公共交通の今後の方向性（案）

現状と課題

- ・ドライバー不足による運行維持の危機
- ・市の公共交通負担額の増大
- ・高齢者等の移動負担と観光二次交通の不足

⇒総合的な見直し＝再構築が必要

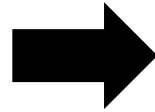
飯山市公共交通再構築のポイント



ドライバーの確保
人手不足の状況下においても、持続可能な運行体制を構築する。



財政負担の最適化
市支出の効率化を図り、持続可能な財政運営を目指す。



生活と観光の足の確保
通勤・通学・通院および観光需要に対応し、必要な移動手段を確実に確保する。



利便性の向上
自宅から停留所までの移動負担を軽減し、高齢者をはじめとする移動困難者の利便性を向上させる。

再構築の方針

1 乗り合いタクシーの再編成（R9（2027）年4月～）

乗り合いタクシーの「見直し基準」を設定し、公表したうえで現行の運行を継続。R8（2026）年9月末時点で基準に達していない路線を「見直し対象」とし、公共交通会議において、再編（継続・休止・減便）について協議していく。休止となった路線に関しては、相乗りタクシーで補完し、市民の移動を確保する。

【見直し基準】 ※資料編 p.33参照

- (1) 休日の利用者が著しく少ない路線は、平日のみの運行にする。
- (2) 各路線の総利用者数に対し、各便（時間帯の便）の利用割合が、10%に満たない低利用便の運行を休止する。
- (3) 以下の基準の両方に該当する路線は路線自体の運行を休止する。

- ① 1便あたりの利用者数 1.2人以下
- ② 1人あたりの市支出額 タクシー料金以上

例：柏尾線 ① 1便あたりの利用者数 1.0人
② 1人あたりの市支出額 26,781円（タクシー料金5,400円）

2 いいやま相乗りタクシーの本格運行

利用者も運営側も利用しやすいように、運行方法や予約方法の課題を解消し、令和8（2026）年10月から本格運行を目指す。※資料編 p.39参照

3 いいやまライドシェアの本格運行

冬期間における観光客の広域的な移動を担う観光二次交通として有効と判断できるため、令和8（2026）年の冬期間（12月～2月を想定）において本格運行を目指す。

4 路線バス小境線の乗り合いタクシー化の検討

城北小学校の開校に伴い、路線バス小境線の通学利用者が減少したため、改めて利用状況を調査し、全ての時間帯で乗り合いタクシーとして運行が可能か検討する。

協議事項（４）令和８(2026)年度事業計画及び予算(案)について

１ 会議日程

令和８年(2026 年)

- ・ ４月 30 日（木） 第 1 回飯山市地域公共交通会議
- ・ ６月（予定） 第 1 回飯山市地域公共交通会議 幹事会
- ・ ９月（予定） 第 2 回飯山市地域公共交通会議 幹事会
- ・ 10 月（予定） 第 2 回飯山市地域公共交通会議
- ・ 12 月（予定） 第 3 回飯山市地域公共交通会議 幹事会

令和 9 年(2027 年)

- ・ ３月（予定） 第 3 回飯山市地域公共交通会議

２ 飯山市地域公共交通会議予算（案）

【歳入】

（単位：円）

項 目	R8予算額	備 考
補助金	3,101,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金（国庫補助金） 地域内フィーダー系統補助（乗り合いタクシー小境線・ 温井線）
合 計	3,101,000	

【歳出】

（単位：円）

項 目	R8予算額	備 考
償還金	3,101,000	飯山市への償還金 地域内フィーダー系統補助（乗り合いタクシー小境線・ 温井線）
合 計	3,101,000	

※いいやま相乗りタクシーの運行に要する経費は、飯山市一般会計より拠出する。